

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会				
H30採択グループ番号	07	—	0489	—	0657

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	平成30年度に力を入れた取組みは、事務局が勉強会や研修会を開催し小規模な工務店まで情報を提供する事で地域の工務店の知識向上や底上げに取り組んできた。また消費者に対し、木とふれあう機会を設けるためのイベントを開催した。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/03	名称	グリーン化事業説明会	●
	内容	グリーン化事業の趣旨や実施要項、共通ルールの説明を行った。					
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/06/24	名称	構造見学会	●
	内容	消費者に対し、完成前の住宅で使用する木材や構造を見てもらう事で地域型住宅の安全性やこだわりをアピールした。					
	消費者説明会 2	有	開催日	2018/07/15	名称	工作教室	●
内容	消費者のお子様を対象に、地域の木材を利用した工作教室を開催した。普段ふれあう事の少ない木を身近に感じてもらった。						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/09/25	名称	子育て住まいのアドバイザー養成講座	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/04/26	名称	7つの習慣に見る働き方改革	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/05/19	名称	安全講習会	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 4	有	開催日	2018/07/07	名称	現場研修会	タイプ 見学会 ●
	工務店研修会 5	有	開催日	2018/10/05	名称	部会	タイプ 座学 ●

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		
	内容	「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」事務局内で申請書作成に関する相談窓口を設け、地域型住宅に取り組みやすい環境を整えた。		
取組み②	サポートの有無 2	有		
	内容	地域事務局と連携し、省エネ講習会の受講を推奨した。		
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	1	発行予定	6
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	(株)住宅あんしん保証・(株)日本住宅保証検査機構・日本住宅保証機構(株)・(一社)JBN	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」グループ構成員によってバックアップの手法・手続きを確認し実施する。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」として積極的に省エネ講習会に参加するよう案内し、地域事務局と連携して取り組んだ。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」が主催するセミナー内で、省エネ機器取扱メーカーによる説明会を実施し知識を深めた。	
BELS工務店の登録数	4 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会				
H30採択グループ番号	07	—	0489	—	0657

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/16	名称	グリーン化事業説明会		
	内容	今年度の実施要項、前年度からの変更点、共通ルールの説明や設計・申請サポートの体制について発表する。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/08/24	名称	構造見学会		
	内容	消費者に対し、完成前の住宅で使用する木材や構造を見てもらう事で地域型住宅の安全性やこだわりを説明し理解を求める。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/07/14	名称	工作教室		
内容	「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」が定期的に主催するイベント、セミナー内で工作教室を実施する。							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/04/11	名称	横浜リストホームズ&最新住宅視察	タイプ	見学会
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/09/05	名称	子育て住まいのアドバイザー養成講座	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/10/04	名称	安全講習会	タイプ	座学
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/10/24	名称	現場研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 5	有	開催日	2020/12/12	名称	リフォームリノベーション博	タイプ	座学

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店に対し、設計事務所と連携し設計や技術的サポートを行う。						
取組み ②	サポートの有無 2	有						
	内容	申請書作成サポートは「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」事務局が行う。						
取組み ③	サポートの有無 3	有						
	内容	フラット35の利用を推奨し、資金計画の提案を取扱店である「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」事務局が行う。						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	㈱住宅あんしん保証・㈱日本住宅保証検査機構・日本住宅保証機構㈱(一社)JBN
------------	----------	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」グループ構成員によってバックアップの手法・手続きを確認し実施する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」が開催するセミナー内で、太陽光発電システムと家庭用蓄電池を合わせて提案することでエネルギーの自給自足を促し、省エネルギー化を推奨する。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」が開催するセミナー内で、省エネエコ診断士による事例紹介を行う。また省エネ改修について勉強会の開催や意見交換等を検討する。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/11/12			
内容	「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」が開催するセミナー内で、省エネエコ診断士による事例紹介を行う。					
研修計画 ②	有	実施日	2020/01/11			
内容	かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」が開催するセミナー内で、見学会を行い改修前と改修後の違いを検証する。					

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会				
H30採択グループ番号	07	—	0489	—	0657

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	香川県は夏季の猛暑や日照時間が長い地域が含まれる為、断熱性能や省エネルギー化が求められます。また人口減少に伴って高齢化率が上昇しており高齢者対策、また南海トラフ地震の備えが必要で、お客様に「安心して快適な暮らし」をご提案するため、以下を基本性能とした地域性のある住宅をご提供します。 ①平成28年度省エネ基準を満たした家づくり(平成28年度基準適用) ②高齢者対策がされた家づくり(高齢者対策等級3以上) ③防風、地震の対策がされた家づくり(木造住宅耐震等級3)	●
----	--	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	主要構造材は、土台、柱、横架材とするが、羽柄材(間柱、小屋束、母屋、棟木、隅木、根太、垂木)に地域材・国産材・合法木材を使用する場合は、その割合計算に含めても良いこととする。□		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有			
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	使用する地域材はグループ内の建材店から共同で調達することを推奨する。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	建材や住設、省エネ機器はグループ内の建材店から共同で調達することを推奨する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	原木供給者の生産予定、製材業者の供給計画等から地域材在庫を想定し、施工グループ員に周知する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	・通し柱を120x120mmとする。耐力壁を構成する隅柱は120x120mmとする。但し外壁を通気構造かつ防蟻・防腐処理を施した場合は全ての柱断面寸法を105x105mm以上とすることができる。 ・建物を良好な状態に保つ仕様(基礎高、防水工事等)を徹底する。 ・第三者評価機関による設計住宅性能評価書の取得で性能を確認する。□	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	長期維持管理計画によって、インスペクションを新築直後・3年・5年・10年・10年以降5年おきに30年まで点検を実施し不具合部分の修繕を行う。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	建築基準法に則った検査。地域型住宅の図面審査、完了審査。長期維持管理計画に基づいた確認検査を行う。□	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	工事費一式の見積金額ではなく、工種別の見積金額を表示する。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	・建物の維持管理検査をインスペクションとし、国土交通省が認めるガイドラインに沿って状況調査を行う事を推奨する。これは新築直後・3年・5年・10年・10年以降5年おきに30年まで点検を実施し、建物を良好な状態に保ち建物の資産価値を残しその後の売却、賃貸、承継を金融面から支援する手法を確立する。 ・基本性能を補完するルール他、構成員独自の特徴あるルールがあれば受け入れ採用する。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	働き方改革法に基づき、ライフワークバランスを啓蒙する。週休2日制を推奨し、休日出勤の場合は振替休日の取得を促す。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	有資格者に対しベースアップ等の評価を推奨する。
③ 社会保険への加入	有	内容	社会保険の重要性をPRし、社会保険の加入を促進する。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」が定期的開催するイベント、セミナー内で健康維持や安全に関する講習会を実施する。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会				
H30採択グループ番号	07	—	0489	—	0657

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	地域の畳を積極的に活用する。
② 和瓦の活用	有	内容	地域の和瓦を積極的に活用する。
③ 襖・障子の活用	有	内容	地域の襖・障子を積極的に活用する。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	・荒壁、砂壁、和紙、竹材等を積極的に活用する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	・四国地方における伝統的デザイン(八尾(やつお)・蓑甲(みのこ))等の継承を支援する。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	長期維持管理計画を住まい方の継承を踏まえ整備する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	地域の街並み見学会等を「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」でセミナーとして開催する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	被災した地域で生産される建材を積極的に利用する。		
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	災害発生時は「かがわ暮らしKO・SHI・RA・Eの会」事務局が避難誘導や非常食の提供を検討している。また地方公共団体の要請によって構成員での復旧支援も検討する。		